

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323

E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>



2023年12号
2023.12.8



持続可能なごみ収集のあり方を 戸別・道路上の収集の検討が必要

市として今後の収集のあり方について方針を示すべき

長年工事が続いてきた第二産業道路の原市平塚工区が11月23日に開通しました。これにより交通利便性が大きく向上しましたが、一方で生活環境における課題も生まれています。そのひとつが、道路が通ることによるごみ置き場の消滅です。

ごみ置き場の問題はこの地域だけの問題ではありません。最近、宅地開発などにより既存のごみ置き場が利用できなくなり、新しいごみ置き場が見つからないというご相談を多くいただいています。ごみ置き場の消滅は地域における重大な問題ですが、現状これに対する上尾市の方針は「地域・自治会に任せる」ということしかありません。しかし、ごみ置き場がなくなった地域の住民の方々がすべてのごみを西貝塚環境センターに運ぶというのは高齢者などに大きな負担を強いるうえ、環境センターの業務の上でも現実的ではありません。

これに対する回答の一つが、戸別収集など収集方法を変えることや、ルールを設けた上で道路上での収集を認めることです。多摩地域など一部の地域ではすでに戸別収集が一般的となっています。これまでの方法だけに固執せずに市民にとって有益なごみ収集のあり方を検討することを今回の一般質問で求めていきます。



民間サービスを活用した道路上のごみ置き場



キーワード

戸別収集

ごみ・資源物を決められた収集日に道路に面した自宅敷地内に出し、ごみ収集車が家ごとに収集を行う収集方式。

東京都日野市では平成12年にごみ減量のための「ごみ改革」として戸別収集への転換が行われ大幅な減量を実現した。



データでみる

多摩地域における戸別収集

多摩地域25市における戸別収集の状況

収集方式	平成24年	令和5年
戸別収集	19自治体	25自治体
併用	4自治体	2自治体
ステーション	2自治体	0自治体

多摩地域では戸別収集が浸透し、現在では全自治体で戸別収集が実施されている

(参照)『多摩地域ごみ実態調査』公益財団法人 東京市町村自治調査会 海老原調べ



一般質問は12月15日(金) 午後1時00分より行います。

傍聴にお越しください。また、インターネット中継でもご覧いただけます。

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)